

発行
福井県大野市役所
(企画室広報係)
電話(代)6-1111
郵便番号-9 1 2
印刷 松浦印刷所



1月の人口の動き
出生 男 17 女 29 計 46
死亡 " 16 " 14 " 30
転入 " 52 " 39 " 91
転出 " 56 " 62 " 118
世帯数 9,883
人口 43,439
男 20,860 女 22,579

明るい豊かなまちづくりに向かって前進



第3次大野市建設計画成る

市では1年有余にわたり第3次建設計画の策定を急いできましたが、このたびできあがりました。その概要は特集号に掲載したとおりであります。これから大野市はこの建設計画に基づいて、総合的な施策を実施し、活気ある若々しい都市へと飛躍的な発展をめざして進むことになります。計画では大野市の将来像を

個性ある文化産業都市として、明るく豊かな新しいまちの実現、とうたっています。

長い歴史と伝統につちかわれたこの美しい郷土に、私たち全市民の手で躍進時代の新しい息吹きをふきこむことによって、恵まれた自然は生き生きとよみがえることでしょう。

ひかりがあふれる

わがふるさと大野に

ひかりがあふれる

このひかりのなか

いま若者は

高らかに

ファンファーレを吹奏する

補正予算などを可決

議会

第110回臨時市議会は1月17日開かれ、8議案について審議の結果、原案どおり可決されました。今回の議案は昭和43年8月の人事院勧告に基づく職員の給与改定が主で、可決された主な議案は次のとおりです。
◎財政再建計画の変更について
歳入は地方交付税・交通安全対策交付金で1704万2千円、歳出は職員の給与費

1704万2千円が増となり、昭和43年度歳入総額10億6937万1千円、歳出総額13億6634万3千円に変更になりました。

◎昭和43年度一般会計補正予算

地方交付税で1511万1千円が追加され歳入歳出予算の総額はそれぞれ13億5787万9千円になりました。

◎昭和43年度特別会計国民健康保険事業補正予算

国庫支出金で53万7千円が追加され、歳入歳出予算の総額はそれぞれ2億775万2千円になりました。

◎大字・字区域の変更について

下庄土地改良区が施行した庄林・西市・中津川・中野・犬山地区の基盤整備事業により、字区域の一部を変更するもので、その効力は知事の告示があった日から生じます。

ドカッときた新春豪雪

威力を発揮した融雪装置



12月31日未明から降り出した雪は新年にはいつから降り続け、新春豪雪と呼ばれる大雪になりました。

5日までは連日50cm以上の降雪があり、9日には積雪量146cm、降雪量376cmに達し、正月早々屋根雪おろしにいそいそと姿が町中で見られました。その後一時小康状態を保った雪も、13日から再び降

りました。

このような雪との戦いで始まった新年でしたが、今冬新しく融雪装置が取り付けられた七間商店街・日吉町・高砂町では別世界のように雪がなく、その威力は市民の目を見張らせ、各所で融雪装置を設置する気運がわかに高まりました。写真は除雪に活躍するブルドーザー

り出し16日には今冬最高の148cmの積雪となりました。

市ではその間、民間の除雪車を借り上げ、延べ139台のブルドーザー・グレーダー・ショベルカーを出動して、298kmに及ぶ主要道路の除雪につとめた結果、一時は交通マヒに陥った道路もほとんど自動車通行が可能にな

融雪を考える

現在市内には元町2区、日吉町5・6区、市校所前、高砂町3区などに融雪装置が設けられており、今年にはいつから設置を計画する区がふえています。

市では向う3か年の間に消火栓兼融雪装置を「大野方式」として主要道路や道幅の狭い所に設置を奨励し、基準装置費用の半を補助することとしています。

長年苦しんだ雪を克服して明るい冬を送れるよう、今こそ融雪装置の設置について考えてみましょう。

ご参考までに融雪装置の経費と効果について既設の3例を次に記載しました。

なお、七間のような商店街における大規模な散水式の場合は、商店街振興の上から補助の制度があります。

スマイル
「まさか」

アラ、雪なんて降ったのかしら

—七間鋪道

コーナー

融雪装置の経費・効果について

敷設区域名	元町2区 (七間通り)	日吉町6区	個人敷設の場合(簡易融雪装置)
加入戸数	57戸	30戸	1戸
敷設延長	285m	250m	34m
1戸当り負担工事費	56,200円	15,000円	112,000円
1ヶ月1戸当り維持費	冬 360円 (管理・修繕費含まず) その他 200円	冬 230円 その他 75円	冬 1,500円、その他 500円
融雪方法	ネジ込キャップ式ノズルによる道路散水。消火栓による屋根から降ろした雪の融雪。	消火栓から側溝に大量の地下水を流し、雪を投げ入れて融雪。遠距離はホースにて放水し融雪。	路面下にパイプを埋め、随所に放水口を設けた吹上げ分散方式による融雪。
融雪効果	予期以上。屋根雪もホース放水約2時間で溶ける。	路幅が狭い所では散水式よりも効果が高いようである。	道路に(凹凸)や(勾配)がなく、平地であればよく溶ける。
長所	降雪探知や道路・ポンプの凍結防止が自動的にできる。夏は散水にも利用できる。	消防ポンプに直結し消火栓としても利用できる。	経費が安い。工事も簡単。夏は散水にも利用できる。
短所	ノズル部分が重量物に耐えず破損しやすい。	雪を側溝へ投げ入れねばならぬ。下流で雪が詰ると水がたまる。	広範囲の融雪はできない。ノズルがビニール製のため破損しやすい。
その他参考事項	降雪探知・凍結防止のため温度センサーは設置したい。	消火・融雪に兼用できる。「大野方式」として市で奨励している。	個人敷設など小規模に適する。七間通りの簡易なもの。



七間通り



日吉町6区



個人敷設

今月の納税 固定資産税第四期

二月二十八日までにお納めください

税の知識

問 市・県民税の申告はいつまでですか。
答 一月一日現在で市内に住所をもっている方は、三月十五日までに申告の義務があります。ただし次の方は除かれます。
一、会社官庁等へ年間を通じて勤務する方で、市・県民税を特別徴収されているもの。
二、税務署へ所得税の確定申告をしたもの。
三、申告しないが台帳などから税額が認められず不利益になります。

掛金は1人年360円

交通事故に備え共済に加入を

福井県市町村交通災害共済期間は、この3月末日で終了します。

このため、大野支部では、3月1日から昭和44年度交通災害共済加入の受け付けを市民課で行ないます。市民の多数が加入されるよう望んでいます。

この制度は万一交通事故にあったとき災害の程度によって、5千円から最高50万円までの見舞金を交付するもので、昨年7月1日にスタートし、ことは2年目に当たります。

交通事故はいつ、どこで、だれがあうかわかりません。万一に備えて、家族ぐるみで加入し

大野支部の現況(44.1.1現在)

スキー大会だけなら

シーズンを迎え、天候にも恵まれた市内各地のスキー場では今やスキー教室や大会がたけなわです。1月10日～12日には森山スキー場で第23回県スキー選手権大会が開かれ、県内各地から多くのスキーヤーが詰めかけました。また、18～19日は六呂師スキー場で第23回クラブ・高校対抗のスキー大会があり、晴天に恵まれ関西からのスキーヤーも含め約2千人が、広いゲレンデいっぱいシュブールを描いていました。

2月9日には第11回市民スキー大会が森山スキー場で開かれる予定です。

大野の歴史25

大野の庶民教育の普及

弘化元年(1844)土井利忠のたてた明倫館は、庶民の入学を許し天下を驚嘆させた。

文教の普及と確立を図り藩内に向学心がみちたことは、明治時代にも大きく影響した。

明治5年(1872)学制が定められると、大野に在りも続々と小学校が建てられ、明治9年ころには郡内

で55校に達した。
現在の市地域に属するものは尾永見・中丁・能達(下舌)・有終・庄林・小矢戸・中野・友江・楽成(吉)・友兼・今井・木本・宝慶寺・麻生島・上野・唯野・六呂師・岩ヶ野・松丸・伏石・東勝原・上打波の22校であった。

有終小学校は、明治9年には教員数25名、生徒数886名に達した。

明治12年、儒者として有名であった横田秀が校長とな

って、おおいに校風をあげ、有終校の名は県下に高かった。

(写真は横田秀)



絶景かな!

お城の雪おろし



降り続く雪の晴れ間をみて、1月11日越前大野城の屋根雪おろしが行なわれました。除雪夫・市職員など10人がかりでカワラや屋根を破損しないよう用心に用心を重ねて慎重を期しました。

お城の雪おろしは誰もが初めての上、屋根が複雑に入り組み、カワラがすべり安く、命綱を使っても危険な仕事でした。

それでも天主閣の上から見下す雪の大野盆地はまことに絶景でフッと疲れを忘れさせるほど澄みきっていました。夕方にはすっかり作業も終わり、雪に埋れていたシャチホコも西日を浴びてきりと輝いていました。

反収日本一米づくり運動

優秀部落と生産者決まる

市の昭和43年度産米出荷量は29万5,600俵に達し、史上最高の豊作といわれた42年度より、更に1万6,000俵上回る空前の収穫となりました。

しかし、生産者米価のすえ置きや生産過剰など、稲作は大きな曲角に立っています。このため、反収日本一をめざすこれからの米づくり運動は、品質の改善と生産コストを引き下げの方向、すなわち「おいしい米を能率よく生産すること」とを転換していかなければなりません。

昨年の米づくり運動の結果、優秀部落ならびに生産者は次のとおりです。

出荷量、等級など生産技術が優秀であ

った部落は、

(うるち米の部) 西山・千歳・中郷・萩ヶ野・金山・今井・森政地頭・森山・西大月 (酒米の部) 矢・下中野
産米改良にりっぱな成績をおさめた方は (うるち米の部) 北川基造(八町)・佐々木正(下舌)・北川忠雄(菰田池) (酒米の部) 南部新一(中丁)

住所変更は必ず2週間内に

住所の変更とは転入・転出・転居をいいます。住所を変更されても届け出をせずにおきますと、市からの選挙・予防接種・国民年金・入学手続きなど重要な通知が届かず、住民としての正しい権利・義務の行使ができないことになります。住民基本台帳法では変更があってから14日以内に届け出なければならないことになっています。必ず市民課窓口(阪谷・五箇地区は公民館)へ届け出てください

保育児童の受け付け

2月15日までに福祉事務所へ



昭和43年度の保育児童の申し込みを受け付けています。入所希望の方は2月15日(土)までに福祉事務所へ申し込んでください。申込書は福祉事務所に用意してあります。

国税の納税証明願は早めに

国税の納税証明書の交付を希望される方は、なるべく早めに(できれば2月20日頃までに)税務署へ申請書を提出してください。2月中旬以降3月中は所得税の納税相談事務で大変混雑しますので、証明書の交付が遅延することがあります。

(税務署)

原付自転車の課税について

125cc以下のバイクは4月1日現在の所有者に課税されます。したがって4月2日以降に購入された場合はその年の税金はかかりませんが、反対に4月2日以降に廃車されてもその年は課税されます。所有者とは、市役所から「ナンバー標識」の交付を受けている人をいいますから、

故障してスクラップにした場合でも「ナンバー標識」を市役所に返さないかぎり所有者と見なされ課税されます。

もしこのようなバイクをお持ちの方は3月31日までに忘れず「ナンバー」を税務課へお返しください。

給与支払報告書の提出は早急に

昭和43年度において従業員を雇用し、給与等を支払った事業主の方に、給与支払報告書の提出をお願いしてありますが提出期限は1月末日になっています。未提出の方は至急税務課へ提出ください

家計簿体験談募集

貯蓄増強中央委員会では、例年のように「わが家の家計簿」の体験談・苦心談を募集しています。締め切りは2月28日です。奮ってご応募ください。詳しいことは商工観光課へお尋ねください。

住宅・土地を捜しています

真名川ダムの建設に伴ない、若生子西谷村が水没することになりました。市では離村される方を受け入れる一環として、住宅や宅地・農地の周旋をすることにしています。市民の方でこのような土地を譲渡くださる方がありましたら、企画室までお知らせくださるようお願いします。

シイタケ種ごまの注文について



春のシイタケ菌埋めごま時期が近づいてきました。市では菌の注文を受け付けていますので、ご希望の方は早く林務課へお申し込みください。

受話器はキッチンとかけましょう



大野局内の受話器のかけ忘れは、県内でも高率になっています。受話器をはずしたまま長くおきますと電話を利用される方がお互に通じなくなり、急用の場合に用をたさなくなります。受話器はキッチンとかけるようご注意ください

電話番号が変わります(電報電話局)

2月1日(土)から大野電報電話局の電話番号が次のとおり変わります。電話番号簿をご訂正ください。

要 件	電 話 番 号	
	新	旧
電話の申し込み・移転などの受け付け	6-1000	6-2700
公社請求書についてのお問い合わせ	6-2000	6-2701
電話交換についてのご要望	6-1500	6-2000
その他のご用は	6-4910(代)	6-2702

歳末たすけあい運動のご報告

昨年の歳末たすけあい運動には各方面から心のこもった義援金・袋募金をお寄せいただきありがとうございました。

ご協力を感じし収支決算をご報告します

◎収入総額 804,832円

(内訳) 袋募金(社協会費を含む)

618,692円・特別寄付金 49,944円・善意銀行払出72,904円・県共同募金会51,800円その他11,492円

◎支出総額 787,944円

(内訳) 保護ボーダーライン世帯慰問金190,500円・施設収容者慰問金 91,500円・長期療養者身障施設慰問金76,000円・重度身心障害者慰問金24,000円・保護ボーダーライン世帯生徒児童慰問品49,744円・社協会費356,200円

◎差引残金 16,888円(社会福祉協議会)

ある。市民の希望は明らか、また期待も大である。

味で今年着工の真名川防災ダムによせる

そ今後の大きな課題であろう。▼この意

これに伴う補助水源を如何にするか、そ

水源の分布と水量の基本調査を実施し、

工業・防火用水等に必要水量確保の問題

▼近代都市建設の必須条件に上・下水道、

季節的に飲料水の枯渇さえ出現した。

に制限した結果、流域の伏流水減少から

た。例えば真名川下流の余剰流水を極度

の利用を第一義的に考えたことであつ

今日問題として残ることは、当時表流水

笹生川ダムが完成してから十余年を経て

位の低下が目立って著しく地下水

コンクリート化等によつて著しく地下水

冷暖房装置の普及、河川改修特に川床の

原因ではないが、近年工業用水の増大、

きもある。これはただ融雪装置のみの

低い近郊地区において地下水状況にある向

みであるが、当市でも比較的地下水位の

についてはすでに長岡市においても試験済

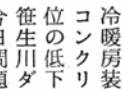
るかどうかの疑問が残る。行きづまりに

たとき、現在の地下伏流水の量で事たり

地を対象として融雪装置を敷設するとし

▼しかしここで考えたいことは、全市街

においても雪国の明るい話題であろう。



春のシイタケ菌埋めごま時期が近づいてきました。市では菌の注文を受け付けていますので、ご希望の方は早く林務課へお申し込みください。



るものがある。ところがここの話題に

大野方式なる融雪装置が大きく報道陣

にとりあげられた。▼すでに市街地でも

その効果をあげているし、また個人の融

雪装置を入れると相当な数にのぼるであ

ろう。これらは雪の暴威を克服した点に

おいても雪国の明るい話題であろう。

大野方式なる融雪装置が敷設するとし

たとき、現在の地下伏流水の量で事たり

るかどうかの疑問が残る。行きづまりに

についてはすでに長岡市においても試験済

みであるが、当市でも比較的地下水位の

低い近郊地区において地下水状況にある向

きもある。これはただ融雪装置のみの

原因ではないが、近年工業用水の増大、

冷暖房装置の普及、河川改修特に川床の

コンクリート化等によつて著しく地下水

位の低下が目立って著しく地下水

笹生川ダムが完成してから十余年を経て

今日問題として残ることは、当時表流水

の利用を第一義的に考えたことであつ

た。例えば真名川下流の余剰流水を極度

に制限した結果、流域の伏流水減少から

季節的に飲料水の枯渇さえ出現した。

▼近代都市建設の必須条件に上・下水道、

工業・防火用水等に必要水量確保の問題

水源の分布と水量の基本調査を実施し、

これに伴う補助水源を如何にするか、そ

の上立つての総合的治水計画の安定こ

味で今年着工の真名川防災ダムによせる

市民の希望は明らか、また期待も大である。

三八・一豪雪に続

いて四三年大雪ならび

に本年の新春ドカ雪

と、このところ雪ど

る大野の面目躍如？た

財政公表について

この公表は「財政状況の作成および公表に関する条例」に基づき、市の財政がどのように運用され、またあなたが納められた税金がどのように使われているかを、皆さんに知っていただくために作成したものであります。

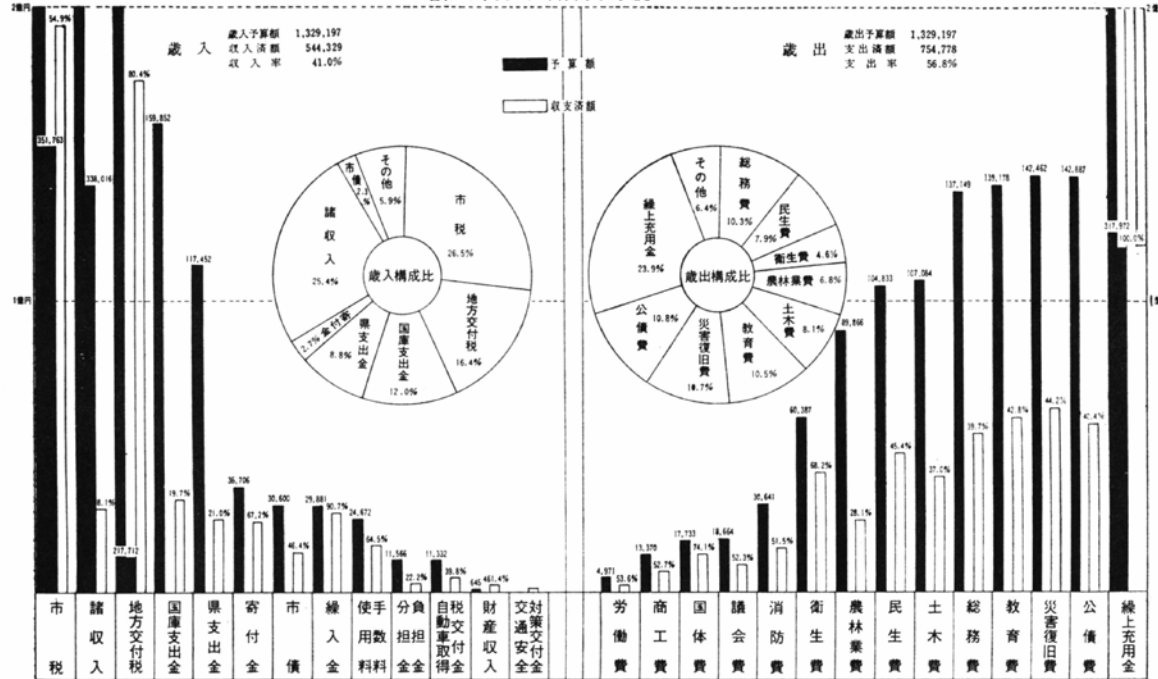
今回は昭和43年度予算の10月末日現在の状況を公表します。



発行
福井県大野市役所
(企画室広報係)
電話(代) 6-1111
郵便番号 9 1 2
印刷 松浦印刷所

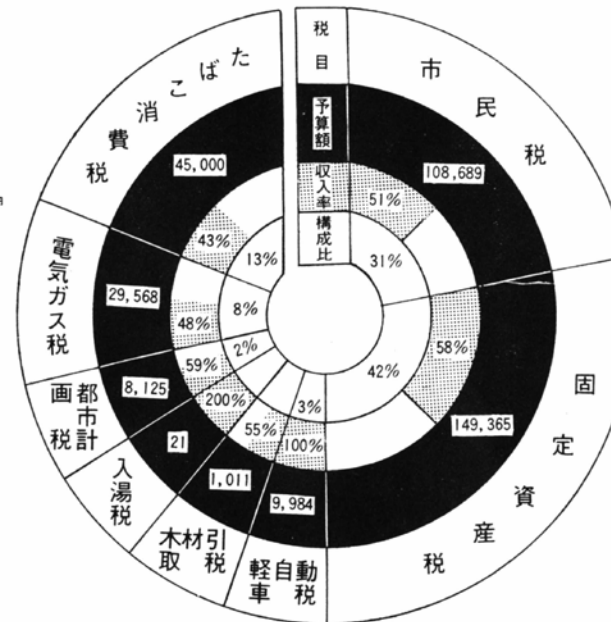
人口 43,442人 (昭和43年12月1日現在)
43,747人 (昭和40年国勢調査)
世帯数 9,882世帯 (昭和43年12月1日現在)
9,729世帯 (昭和40年国勢調査)
面積 343.56km²

昭和43年度一般会計収支状況 (単位:千円)



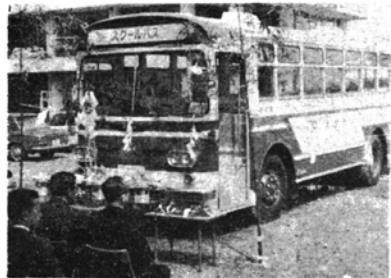
市税の納入状況 (単位:千円)

予算額 351,763
収入済額 193,062
収入率 54.9%



一時借入金 208,443千円

機関名	借入額
大蔵省資金運用部	200,000
福井県	5,000
大野市農業協同組合	3,433



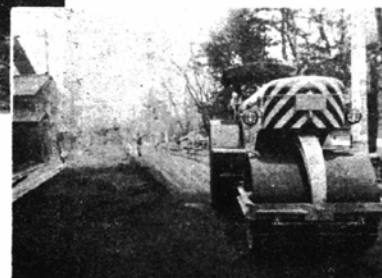
尚徳中学校スクールバスの購入

通学歩道完成 (有南小)



完成した市道仙翁谷線

道路舗装工事すむ



特別会計収支状況 (単位:千円)

会計名	予算額	収入済額	支出済額
国民健康保険会計	197,831	117,200	109,117
五箇診療所計	1,639	915	833
簡易水道会計	21,814	5,915	5,669
駅東土地区画整理事業会計	1,299	25	51
南部土地区画整理事業会計	77,135	29,179	10,622
公団分収造林計	2,108	670	370
食肉処理会計	3,629	2,005	1,570

第3次大野市建設計画の概要

建設計画の構成

大野市第3次建設計画は基本構想(10年)、基本計画(5年)、実施計画(3年)からなっています。基本構想は10年後における大野市のビジョンを描き、基本計画はその実現を図るために実施する具体的な施策をあげています。また実施計画は年々実施していく個々の計画を予算的な裏づけと共に決定するものです。

大野市の将来像

計画のビジョンは、市の恵まれた自然条件を生かし個性ある文化産業都市として、明るく豊かな新しいまちの実現を図るもので、このため自然的・社会的条件に即した次のような総合的施策を実施します。

明るいまちづくり



よりよい市民性の育成と社会環境をつくるため、次代の人間形成に努め市民福祉の向上を図っていきます。

◆よい人間をつくるために

- 1、小・中学校の統廃合をすすめて、学校規模の適正化を図る。
- 2、老朽校舎を改築し、鉄筋化100%の実現を図る。
- 3、新しいまちづくり運動を重点として社会教育の振興を図る。
- 4、図書館・総合体育施設を建設して、市民の教養・体位の向上を図る。

◆しあわせな暮らしのために

- 1、保育施設を充実して、適令児の100%収容をめざす。
- 2、児童館・公園を設けて、子供を事故から守る。
- 3、低所得者・身障者等の更正指導を行なう。
- 4、成人病対策の徹底を図り、市民の健康増進にあたる。
- 5、国民健康保険事業を充実し、老人の10割給付・育児手当を実施する。



豊かなまちづくり

経済的基盤を確

立して豊かな生活を営めるよう、産業生産の拡大と市民所得の向上を図っていきます。

◆まちを豊かにするために

- 1、土地基盤整備事業をすすめて大型機械の導入、協業体制を確立して近代化を図る。
- 2、県営六呂師共同利用模範牧場の有機的利用により、畜産の振興を図る。
- 3、公共資金の導入による造林をすすめて、人工林率の向上を図る。
- 4、広域林業行政をすすめて、共販市場の開設を推進する。
- 5、繊維構造改善事業をすすめて、生産性の向上を図る。
- 6、中小企業団体の育成強化、金融対策をすすめて、経営の安定を図る。
- 7、工場誘致、資源の利用・開発につとめ、新しい産業の導入をすすめる。

新しいまちづくり



先進地との交流に努め、社会資本の開発・充実を図って、時代の変革にこた

えた新しいまちの実現を図る。

◆住みよいまちをつくるために

- 1、ごみ、し尿の処理施設を拡充整備して、まちを美しくする。
- 2、近代化的葬場を建設し、共同墓地の計画をすすめる。
- 3、地下水の調査をして、上水道の計画をすすめる。
- 4、融雪を兼ねた消火栓の設置をすすめる。
- 5、消防施設の整備、除雪体制の確立をすすめて、市民生活を守る。

◆新しい郷土の基盤をつくるために

- 1、国道の整備、越美南北線の貫通を期して、先進経済圏との交流を図る。
- 2、区画整理事業を実施して、理想的な市街地の形成を図る。
- 3、国道バイパス道路の建設をすすめる

(大野市主要指標の動向)

項 目	40年 A	50年 B	伸率 ^{B/A} %
総人口	43,747人	43,800人	100.1
世帯数	9,729	10,200	104.8
生産所得	8,294千円	18,731千円	225.8
就業者1人当り生産所得	353千円	774千円	219.3
市民1人当り所得	185千円	406千円	219.5

て、交通の緩和を図る。

- 4、市道幹線の改良・舗装を計画的に実施する。
- 5、観光施設を整備し、ルートの開発をすすめて都市住民の憩いの場を作る
- 6、亀山公園を整備して、市民の憩いの場を作る。

基礎的条件の整備

都市計画

市内交通量は速からず飽和状態になることは必至です。そのため街路の拡張、バイパス道路の新設、新野大橋線の延長等を急ぎ、市内各所に公営駐車場を設置していきます。

(公園) 亀山公園は越前大野城を中心に文化財・史跡の保護に努め、自然と調和した総合計画をたてて、市民の憩いの場とします。また市郊外に適地を求め墓地公園を計画して、市街地土地利用の高度化を図っていきます。

(区画整理事業) 新栄町を中心とする北部地区はバイパス道路の完成により急速に市街地化されていますので、北部及び東部区画整理事業の早期着工と、西部バイパス線の建設に併行して西部地区の計画を進めて行きます。

水政計画

伏流水の変動が予測されるので、生活用水、農・工業用水確保のため地下水調査を実施して、新しい水源の開発に努めます。

交通計画

高速自動車道時代を控え、北陸自動車道・東海北陸自動車道への接続路となる福井白鳥自動車道の早期実現を強力に促進します。冬期間の交通確保のために除雪車を4台に増強(現有2台)し、消火栓兼融雪装置の設置を促進します。交通安全の面では道路整備とあわせて、通学路・信号機などの施設を充実していきます。

また鉄道については越美南・北線の貫通を促進し、中京圏との交通拡大を図ります。

道路計画

(国道) 市街地交通の緩和を図るため西部バイパス線の着工を急ぎ、福井松本線の改良舗装と県道大野黒保線との国道昇格を促進します。

(県道) 主要県道の全線と人

家連担地区の舗装を完了し、あわせて市道下鹿線と仙鶴谷線の県道昇格を図っていきます。

(市道) 市、道路網を再編成して計画的かつ継続的な改良整備を行ない、舗装については市街地道路・村落連絡線・人家連担地域の舗装を優先的に図っていきます。

市道の改良舗装目標

等級別	延長 km	現況 舗装率%	改良率%	改修後 舗装率%	改良率%
1級	133.1	7.0	16.4	32.2	40.8
2級	113.1	0.8	11.7	2.1	18.5
3級	49.0	0.2	0.4	0.2	10.0
4級	42.2	0.1		0.1	
計	337.4	3.1	11.0	13.4	23.7

産業振興計画

農業計画



今後整備を必要とする2,790haの水田の土地基盤整備を実施して、大型機械の導入と協業組織の確立に努めます。

(牧野造成) 六呂師高原に造成される県営共同利用模範牧場は、当地方の畜産振興の基盤として畜産の飛躍的発展を図ります。

経営規模別農家数の推移

区分	0.5ha未満	0.5~1ha	1~1.5ha	1.5~2ha	2~3ha	3ha以上	計
25年	971	1,556	1,273	437	62	—	4,299
35年	774	1,531	1,262	503	113	1	4,184
40年	689	1,424	1,199	576	161	1	4,050
47年	550	1,050	1,250	600	300	50	3,800

林業計画

当市の林野面積は73%を占めますが民有林の人工林率は17.9%と低率です。このため公共資金を導入して造林をすすめて、近接市町村を含む広域的な共販市場の設置を促進します。

商工業計画

市内工業生産額の66%を占める繊維工業が市民経済に及ぼす影響はきわめて大きく、伝統産業として発展してきましたが、最近では技術革新・労働不足賃金上昇等問題が多いので、繊維構造改善事業による抜本的な企業改革と設備の近代化を推進して、基幹産業としての振興を図ります。また商業についても組織の強化と共同事業を推進し、零細企業を対象に市融資制度の拡充を

図ります。

(工場誘致) 既存産業との競合や公害を配慮し、高卒者・男子労働に適した産業の誘致に努めます。

観光計画



越前大野城・郷土歴史館の完成、模範牧場の着工、九頭竜ダム群の竣工により観光に多面的要素を深めてきた当市の観光を生かすため、次の施策を実施していきます。

- 1、亀山公園の整備・開発
- 2、休憩場・売店・駐車場の設置
- 3、六呂師高原の白山国立公園編入
- 4、和泉村と提携して九頭竜峡・荒島岳の開発
- 5、青年の家の誘致
- 6、国鉄奥越周遊コースの早期開設
- 7、荒島岳を周遊して九頭竜・真名川両ダムを結ぶ奥越高原観光道路の開発
- 8、白山横断道路の早期完成

文化厚生計画

教育計画

教育効果の向上を図るため学校の統廃合・新設・通学区域の再編成により学校規模の適正化を図り危険校舎の改築を推進します。

- (幼稚園) 1、下庄地区に新設を促進。
- 2、収容年令を拡大する。

- 3、施設・内容設備を充実する
- (昼間定時制高校) 地元産業に若い労働力を供給する昼間定時制(2部制)高校の拡充を図ります。

(危険校舎の解消) 学校の統廃合・改築とあわせて鉄筋化を図っていきます。

校舎改築計画

校舎改築 小山小・下庄中・乾朝小 講堂改築 富田小・下庄小 敷地造成 有南小

(図書館の充実) 独立した図書館がないので、大野公民館を市民会館に併設し、現大野公民館を独立図書館として整備充実していきます。

(郷土歴史館) 先人の文化的遺産を後世に伝えるため郷土文化の調査・研究・資料の収集を行なって保存・伝承します。



(越前大野城) 市のシンボルとして歴史館と共に史的遺産の保存につとめあわせて観光開発に寄与します。

(青年の家の誘致) 青年の学習集団活動の場として勝原地区に県立青年の家の誘致を促進していきます。

(新しい村づくり) 社会教育活動の拠点を部落内におき、生活に密着した諸問題と取りくみ住民意識の向上に努めます。

(留守家庭児童対策) 共働き家庭の増加により、下校後の児童対策として児童館を建設し、児童の健全育成に努めます。

(社会体育の振興) 国体を契機に高まった市民のスポーツ熱を育成するため、既施設の整備とあわせて市営総合グラウンドの建設を計画します。

民生計画

(老人家庭奉仕員の設置)



単身老人の保護に当たるため老人家庭奉仕員を設け、家庭の慰問・相談・介助などを行ない、老人家庭の不安をなくしていきます。

(保育所)

建設計画

地区名	公 私 名	定員	備 考
大野地区	社会福祉法人	90人	乳児対象
下庄地区	市 立	60人	

(国民健康保険事業) 保険財政の悪化に対処しながら運営の近代化を図り育児手当の新設、老人の10割給付を実施して、被保険者の福祉向上を目標とします。

衛生計画



(成人病対策) 高血圧症・心臓病・ガン等の集団検診を実施して疾患の早期発見・治療に努めます。

(水道施設の整備) 地下水の低下がみられますので地下水調査を実施して市街地を中心に上水道計画を進めます。簡易水道は部落簡易水道・小規模給

水施設を統合して、広域簡易水道に改良していきます。

(ゴミ・し尿処理) ゴミ焼却能力は速からず限界に来るので、炉1基を増設し、補助燃焼装置をつけ完全焼却に努めると共に収集車を増強していきます。し尿処理は処理能力を現在の27kℓから54kℓに増強を図ります。

(葬斎場の整備) 現火葬場は老朽したため、近代的な葬斎場の建設を進めます。

住宅計画

住宅はほぼ充足の状態にあり、市営住宅入居者も自己住宅建築の機運が高いため、小集合の市営住宅は入居者に払い下げ、50〜55年には中津川に不燃性住宅の建設を進めます。

消防防災計画

建築構造の変化と化学燃料の普及は一度火災が発生すると不慮の惨事を招く条件をはらんでいますので、次のような計画を実施し、市民の安全に努めます。

計画の概要

設置予定 器 材	事業 量	備 考
雪 上 ポンプ車	1台	積雪時の機動力強化
小型動力 ポン プ	10台	へき地に配し、初動体制・積雪時に備える
融雪兼用 消 火 栓	51基	市街地の用水不足に対処し、融雪を兼ねる
防火水槽	6基	水利のない部落に設置する
無 線 移 動 局	1局	現有1局を2局に増強し通信を強化する

その他防火・救急体制を強化して社会秩序の保持と公共の福祉に努めます

実施に当ってのお願い

この建設計画を実施していくには国・県の指導援助はもちろん、民間団体の協力と市民の市政に対する積極的な参加が必要です。

市民の皆さんのご協力を切にお願いいたします。